



ケーススタディ

SCSK

業種

ITサービス

メリット

リモート従業員のサポート

企業所有のデバイスより優れたコスト効率

迅速な導入

プロトコル

OTP

製品

YubiKey 5 NFC

導入詳細

カスタマーサービスの従業員

「私たちは迅速にテレワーク環境へ移行する必要がありました。YubiKeyは、ITの専門知識を持たない従業員に対しても迅速に展開することができました。」



吉田隆夫氏 |

ゼネラルマネージャー |

カスタマーサポート部 |

ネットワークセキュリティ事業本部

SCSK、YubiKeyによりリモートワーク環境のセキュリティを低コストで強化

YubiKeyでリモート従業員のセキュリティを強化しながらコストを94%削減

SCSKのカスタマーサポート部門はリモート従業員のセキュリティを強化する必要性に直面

SCSKグループ（以下「SCSK」）は、旧・住友コンピュータシステム株式会社であり、日本国内のみならず米国や欧州の日系企業向けにも、幅広いITサービスおよびソリューションを提供しています。ITサービスプロバイダーとして、SCSKは専門的な知見とリセラーとしてのネットワークを有しており、パンデミックにより即時のリモートワーク移行が求められた際にも、迅速に対応できる体制を整えていました。

SCSKの情報システム部門は、全社的にリモートワークを有効化し、かつ安全に運用するためのリソース不足に直面しており、その結果、セキュリティ境界は拡大、分散していました。多くのSCSK社員において、リモートワークへの移行は、モバイルベースの認証によって支えられていました。しかし、モバイル認証は、カスタマーサポート部門を含むすべてのユースケースにおいて利用可能、または十分に安全というわけではありませんでした。

SCSK株式会社のカスタマーサポート部門は、全社の最前線で、グループ全体で販売されているすべてのハードウェアおよびソフトウェア製品に関する問い合わせ対応やトラブルシューティングを担っています。これらのカスタマーサービス対応を、オフィス内の共用ワークステーションからテレワークへ移行するにあたり、SCSKはデータベースへの安全なアクセスを支えるための代替となる多要素認証（MFA）ソリューションを見つける必要がありました。

YubiKeyによる最高レベルの保証とフィッシングへの耐性を備えたMFAの提供

ITサービスプロバイダーとして、SCSKは、YubiKeyのようなハードウェアセキュリティキーが、最高水準の保証とフィッシングに耐性のあるMFAを提供することをすでに認識していました。

その結果、SCSKはYubiKey 5 NFCの導入を選択しました。YubiKey 5 NFCは、OTP、U2F、スマートカード、FIDO2認証をサポートするマルチプロトコル対応のハードウェアセキュリティキーです。SCSKは、二要素認証2FA構成における第2要素としてYubico OTPを活用し、クライアントソフトウェアを必要とせず、YubiKeyから直接一意のOTPを生成する仕組みを構築しました。

YubiKeyはリモート勤務の従業員に直接配布され、従業員は情報システム部門のサポートを受けることなく、簡単な書面の手順に従うだけで新しい認証フローを設定することができました。これにより、導入コストを非常に低く抑えることができました。

YubiKeyはセキュリティ専用設計された製品であるため、強固なセキュリティポリシーを実現できます。YubiKeyを紛失したとしても、YubiKey自体には機密データが保存されていないため、セキュリティインシデントにはなりません。」

吉田隆夫氏 |
ゼネラルマネージャー |
カスタマーサポート部 |
ネットワークセキュリティ事業本部

導入コスト比較

SCSK社内分析



YubiKeyはリモート攻撃を防止し、機密性の高い顧客データを保護

世界水準のカスタマーサービスを提供するため、担当者は製品情報や顧客情報を含む大量の機密データにアクセスしています。リモートワークでは、セキュリティが確保されていない自宅ネットワーク、パッチ未適用の個人端末、共有デバイス、そしてインターネットそのものに起因する新たな脆弱性が生じます。これらは内部不正の脅威やサイバー攻撃のリスクをさらに高める要因となります。

YubiKey OTPは、44文字からなる一度限り使用可能な、128ビットで暗号化された安全なパブリックIDとパスワードで構成されており、なりすましはほぼ不可能です。ユーザーは、認証フローの中でOTPが求められた際に、YubiKeyに触れるだけです。これにより、ユーザーの存在を証明し、リモート攻撃を防止することができます。YubiKeyのマルチプロトコル対応は、FIDO2/WebAuthnを含む、将来的なフィッシング耐性を備えた最新の認証方式への投資につながる橋渡しとなります。また、セキュリティ面での利点に加え、YubiKeyは従来使用されていたマトリクス認証と比べて、大幅な生産性向上効果ももたらしました。

コスト効率に優れたMFAソリューションとしてのYubiKey

YubiKeyは、使いやすく大規模に展開できるように設計されているだけでなく、コスト効率にも優れたソリューションです。SCSKの場合、YubiKeyのコストは、社給スマートフォンのハードウェアコスト（設備投資/CapEx）のわずか17分の1（約6%）に相当します。これに加え、スマートフォンには、ハードウェア費用やサービス費、デバイス管理ソリューション、継続的な交換コストなど、デバイス保有に伴う運用コスト（OpEx）も継続的に発生します。「YubiKeyはランニングコストがかからないため、使用年数が長くなるほどコスト面での優位性が高まります」と吉田氏は述べています。

「YubiKeyは1つあたり数千円と非常に低コストです。スマートフォンは1台あたり数万円かかるため、初期コストの差はおおよそ10倍になります。」

吉田隆夫氏 | ゼネラルマネージャー | カスタマーサポート部 |
ネットワークセキュリティ事業本部

SCSKは最新のサイバー攻撃を防止する将来対応型MFAソリューションで安心を獲得

MFAは、パスワードのみよりは優れていますが、すべてのMFAが同等に作られているわけではありません。機密性の高い顧客データを取り扱うリモートワーク従業員のセキュリティ水準を一段と引き上げることを目指し、SCSKは、最新のハードウェアセキュリティキーへの投資を行いました。これにより、高いセキュリティ保証を低い総所有コスト（TCO）で実現するとともに、巧妙化が進む現代のサイバー攻撃に対応し、アカウント乗っ取りを未然に防止できる将来対応型の環境への道筋を確立しました。使いやすさと迅速でシンプルなユーザー体験を兼ね備えていることから、YubiKeyは今後もSCSKにおいて、リモートワークやハイブリッドワークの従業員を維持、強化するための重要なツールであり続けます。

 詳細情報

yubi.co/customers-ja

yubi.co/contact-ja

yubico

Yubico(Nasdaq First North Growth Market Stockholm:YUBICO)は、最高水準の耐フィッシング多要素認証(MFA)のYubiKeyの発明者であり、FIDOオープン認証規格の作成者かつ担い手です。Yubicoは、160カ国以上のお客様にハードウェアベースのパスキー認証を提供するパイオニアです。詳細については、www.yubico.comをご覧ください。

© 2026 Yubico